

中国四国教育学会

第65回大会プログラム

2013年11月2日(土)・3日(日)

高知工科大学



<目 次>

大会参加要領	1
大会日程	2
交通のご案内	3
高知工科大学建物配置図	4
高知工科大学発表会場等配置図	5
自由研究発表(第一日)	7
公開シンポジウム	20
自由研究発表(第二日)	21
ラウンドテーブル	35

大会参加要領

1. 会場案内

本プログラム3頁以降に、交通のご案内、高知工科大学建物配置図、発表会場等配置図を掲載しております。

2. 受付

受付開始時間 8:30 (大会第一日) 9:00 (大会第二日)
受付場所 高知工科大学 教育研究棟A 1F ※懇親会受付も同様
大会参加費 正会員：2,000円 (学生会員：1,000円) 臨時(当日)会員：1,000円
懇親会参加費 3,000円 (学生会員：2,000円)
懇親会会場 高知工科大学 大学会館

3. 発表要領

- 自由研究発表 個人研究：発表15分、質疑5分
共同研究：発表30分、質疑10分
(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)
- 総括討議は、各部会で最後に20～40分程度行います。発表者は必ず参加してください。
- 自由研究発表における共同研究者の氏名は、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、○印は口頭発表者です。
- 発表者は、レジュメを30～40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。
- 液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。
- 発表の際、液晶プロジェクタを用いてコンピュータ画面を映写される方は、ノートパソコン (Windows 搭載) と電子媒体 (USB メモリ) に記憶させたデータをご持参ください。
- 発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。
- 発表取り消しがあつた時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

4. その他

- 本プログラムは大会当日必ずご持参ください。
- 昼食は、大会第一日目、二日目とも食堂が営業しておりますので、ご利用ください。
- 大会当日、名札を付けた大会実行委員会スタッフが会場のご案内をいたします。ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。
- やむをえず発表を取り消される場合は、速やかに学会事務局までご連絡ください。
- その他ご不明な点がございましたら、学会事務局庶務・プログラム担当幹事までお問い合わせ願います。

5. 大会実行委員会および学会事務局連絡先

大会実行委員会

〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学
委員長：中村 直人 (高知工科大学)
事務局：渡邊 春美、岡谷 英明、柴 英里 (高知大学)

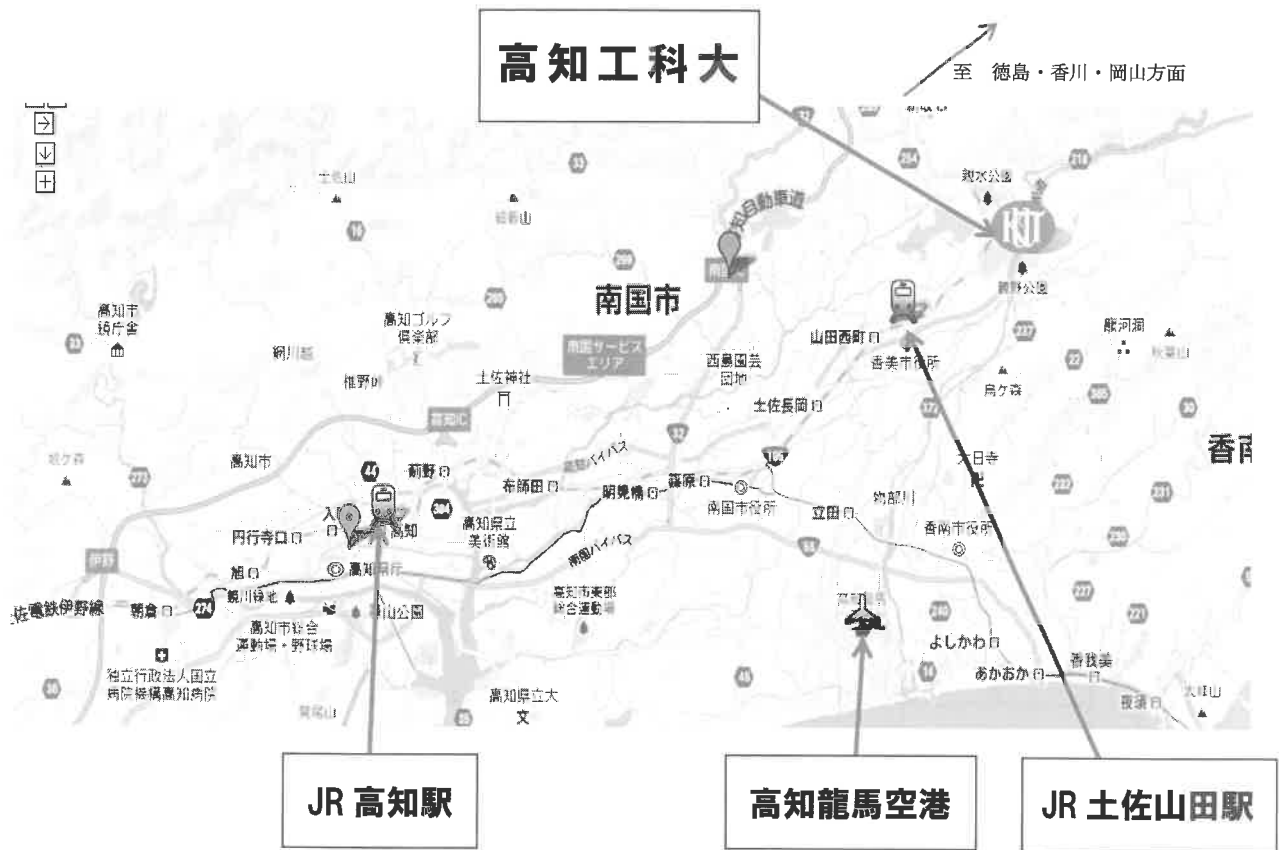
学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科教育学講座内
事務局長：山崎 博敏
庶務・プログラム：大橋 隆広 (082-424-6745、taohashi@hiroshima-u.ac.jp)

大会日程

第一日 11月2日(土)		第二日 11月3日(日)	
8:30～	受付	9:00～	受付
9:40～	自由研究発表	9:40～	自由研究発表
	頁		頁
「教育の思想」部会	7	「道徳教育」部会	21
「教育の歴史Ⅰ」部会	8	「教育の歴史Ⅱ」部会	22
「教育と社会」部会	9	「授業研究Ⅱ」部会	23
「授業研究Ⅰ」部会	10	「教育の制度とマネジメント」部会	25
「学校経営」部会	11	「幼児教育Ⅱ」部会	27
「幼児教育Ⅰ」部会	12	「高等教育」部会	28
「教師の力量形成Ⅰ」部会	13	「特別支援教育」部会	29
「カリキュラム論Ⅰ」部会	14	「教師の力量形成Ⅱ」部会	30
「国語教育Ⅰ」部会	15	「カリキュラム論Ⅱ」部会	31
「音楽教育Ⅰ」部会	16	「国語教育Ⅱ」部会	32
「音楽教育Ⅱ」部会	17	「音楽教育Ⅲ」部会	34
「教育と言語」部会	19		
10:00～		10:00～	
「多文化教育」部会	18	「授業研究Ⅲ」部会	24
		「学力の国際比較」部会	26
		「数学教育」部会	33
13:30 ～16:30	公開シンポジウム (C102)	13:30 ～15:30	ラウンドテーブル① (B107)
	20		ラウンドテーブル② (B108)
			35
			36
16:40 ～17:40	総会 (C102)		
18:00 ～20:00	懇親会 (大学会館)		

交通のご案内



○ JR を利用される場合

- ・土佐山田駅下車。駅より大学まで、バスで約 13 分。

< 高地駅～土佐山田駅 >

高知駅から JR 特急（「しまんと」、「南風」）で約 11 分、JR 普通で約 25 分。

こちらの時刻については下記 URL をご覧下さい（8:01、8:10、8:44、9:13 高知駅発などがあります）。

http://www.kochi-tech.ac.jp/kut/about_KUT/timetable.html

< 岡山駅～土佐山田駅 >

岡山駅から JR 特急（「南風」）で約 2 時間 20 分、JR 普通で約 5 時間。

	岡山	坂出(乗り換え)		坂出	土佐山田
快速マリンライナー1号	5:28	6:13	特急しまんと1号	6:18	8:03

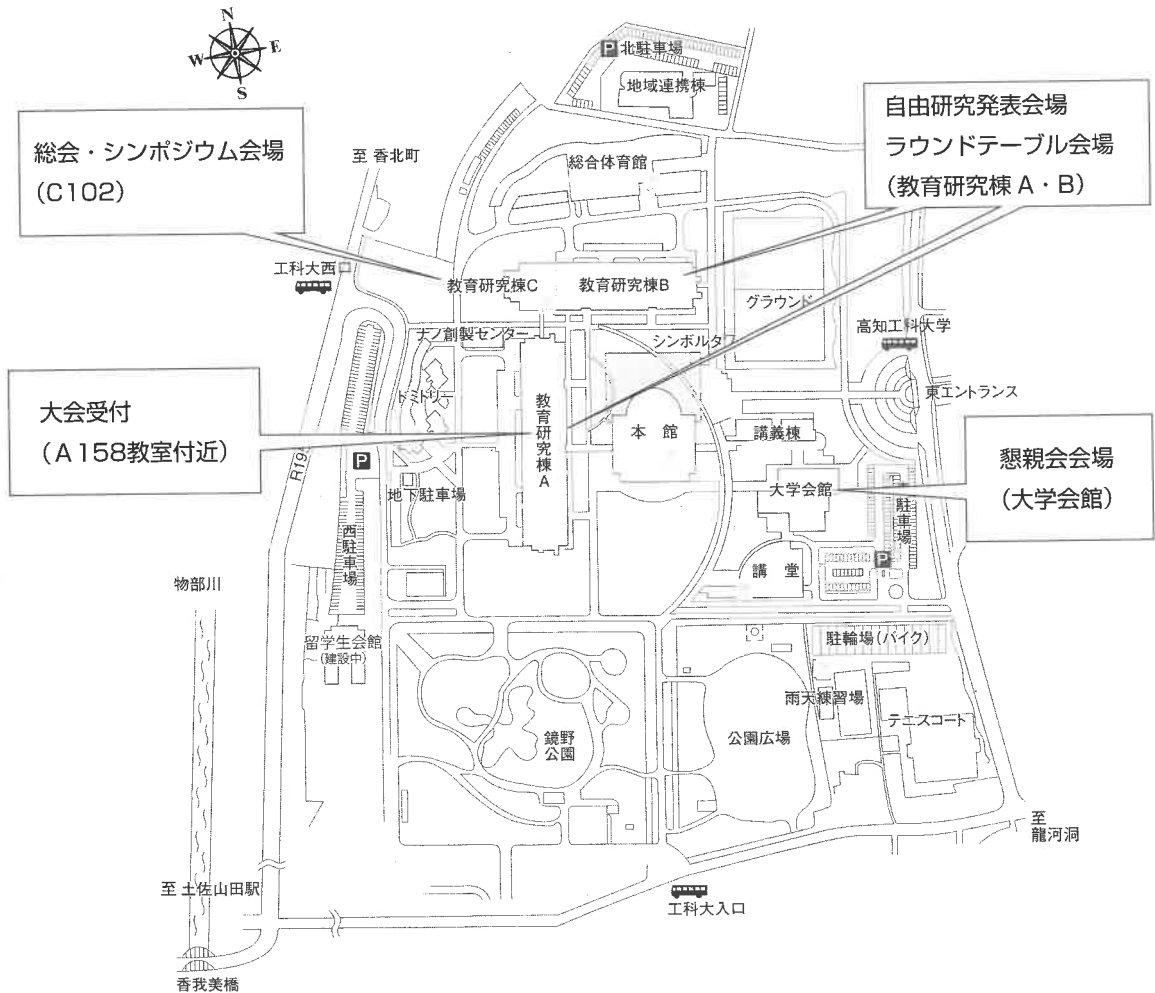
	岡山	土佐山田
特急南風1号	7:08	9:26

・大会 1 日目の朝、懇親会終了後、大会 2 日目の朝、自由研究発表終了後、ラウンドテーブル終了後には、土佐山田駅から高知工科大学の区間で大学のバスを運行しますので、HP 時刻表以外の時間でも無料で利用可能です。

○ 航空機を利用される場合

- ・高知龍馬空港着。空港から大学まではタクシーで約 20 分

高知工科大学建物配置図



- 大会受付—教育研究棟 A 棟 1F(A158 教室付近)
- 学会事務局—教育研究棟 A 棟 104 教室
- 会員控え室—教育研究棟 A 棟 105 教室
- 総会・シンポジウム会場
—教育研究棟 C 棟 C102 教室
- ラウンドテーブル会場
—教育研究棟 B 棟 107 教室、108 教室
- 自由研究発表会場—教育研究棟 A 棟、B 棟
- 懇親会会場—大学会館

総会のご案内

第一日目 (11月2日) 16:40 より、C102 教室にて総会を開催いたします。ぜひともご出席ください。

懇親会のご案内

第一日目 (11月2日) 18:00 より、大学会館にて懇親会が開かれます。参加費は 3,000 円 (学生会員は 2,000 円) となっております。相互交流の場として、多くの方々にご参加いただきたく存じます。

ラウンドテーブルのご案内

第二日目 (11月3日) 13:30 より、B107教室およびB108教室にてラウンドテーブルを開催します。多くの方々にご参加いただきたく存じます。

大会 第一日

「教育の思想」部会

会場：A106 教室 9：40 ～ 12：30

司会：櫻井 佳樹
(香川大学)

- ① 9:40 フランクルによる青少年相談所の設立とその活動 荒金 誠
(兵庫教育大学・院生)
- ② 10:00 レヴィナス主体概念の変遷に見る他者論的一契機——教育学
における他者論のために 安喰 勇平
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 「教育の現代化」に至る心理学者ブルーナーの問題意識 相馬 宗胤
(広島大学・院生)
- ④ 10:40 平和維持をめぐる戦後ヴェーニガー教育学の理論的特徴 田中 崇教
(高松短期大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:10 モレンハウアー「美的識字化」構想の理論的影響 中居 舞子
(広島大学・院生)
- ⑥ 11:30 脳科学受容をめぐる教育学の問題構制 ○杉田 浩崇
(愛媛大学)
○熊井 将太
(山口大学)

【総括討議 12：10～12：30】

大会第一日 11月2日(土)

「教育の歴史 I」部会

会場：A107 教室 9:40 ~ 12:10

司会：福田 修
(山口大学)

- ① 9:40 明治期から大正期におけるキリスト教主義幼稚園の活動に関する研究
—JKU 年次報告を中心に— 井本 美穂
(広島大学・院生)
- ② 10:00 戦前の龍野幼稚園における職能形成風土 ○和田 真由美
(近大姫路大学)
田中 亨胤
(近大姫路大学)
- ③ 10:20 広島県西条尋常高等小学校における道德教育実践
—相談学習に基づく生活修身の検討を中心に— 鈴木 和正
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 旧制東海中学校卒業生の学歴 烏田 直哉
—職業間の関連— (東海学園大学)
- ⑤ 11:10 明治期の小学校唱歌科における主要な唱歌集に関する研究 山田 めぐみ
—題材の変遷を中心に— (広島大学・院生)

【総括討議 11:30~12:10】

「教育と社会」部会

会場：A108 教室 9：40 ～ 12：10

司会：吉澤 茉帆
(山口県立大学)

- ① 9:40 公共ホールと地域文化の関わりに関する研究 畑山 洋平
(広島大学・院生)
- ② 10:00 戦後における「個性」言説の変容 中野 美咲
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 教育の「自由化」と教師の教育の「自由」 大橋 隆広
(広島大学)
- 【休憩 10 分】
- ④ 10:50 中高一貫校における生徒の社会化過程 長谷部 航士
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:10 就職活動におけるインターンシップ経験の有用性 藤本 佳奈
(香川大学)

【総括討議 11：30～12：10】

大会第一日 11月2日(土)

「授業研究Ⅰ」部会

会場：A109 教室 9：40 ～ 12：10

司会：榎藤 誠剛
(島根大学)

- | | | | |
|----------|-------|--|--------------------------|
| ① | 9:40 | 昭和初期の音楽教育の実践
～坊田壽眞の自筆ノートにみる読譜指導を例に～ | 本永 りえ
(学校法人洋光学園洋光幼稚園) |
| ② | 10:00 | コンピテンシー志向の授業における学習課題に関する
一考察 | 森井 悠太
(広島大学・院生) |
| ③ | 10:20 | 教職課程担当教員養成プログラム実践のリフレクションの
あり方 | 森下 真実
(広島大学) |
| 【休憩 10分】 | | | |
| ④ | 10:50 | 授業研究における教授学キーワードの再編と開発 | 深澤 広明
(広島大学) |
| ⑤ | 11:10 | 教育方法学研究における研究アプローチに関する一考察 | 吉田 成章
(広島大学) |

【総括討議 11：30～12：10】

「学校経営」部会

会場：A110 教室 9：40 ～ 12：30

司会：林 孝
(広島大学)

- ① 9:40 教師の人材育成に資する「目標によるマネジメント (MBO)」に関する研究 藤田 千里
(広島市立可部小学校)
- ② 10:00 「専門職の学習共同体」としての学校に関する基礎的研究(3) 織田 泰幸
～Susan J. Rosenholtz の「教師の職場」研究に注目して～ (三重大学)
- ③ 10:20 サービス・ラーニングの比較考察 荻田 英和
(広島大学・院生)

【休憩 10 分】

- ④ 10:50 学校経営の目標概念群の構成と機能に関する事例分析(1) ○曾余田 浩史
(広島大学)
○曾余田 順子
- ⑤ 11:30 学校経営の目標概念群に関する議論の展開と課題 ○曾余田 浩史
(広島大学)
○曾余田 順子
○山本 遼
(広島大学・院生)
○荻田 英和
(広島大学・院生)
○内田 政幸
(広島大学・院生)

【総括討議 12：10～12：30】

大会第一日 11月2日(土)

「幼児教育Ⅰ」部会

会場：A113教室 9:40 ~ 12:30

司会：松井 剛太
(香川大学)

- ① 9:40 父親の育児参加を支える男性保育者の役割に関する基礎的研究 ○柏 まり
(就実大学)
佐藤 和順
(岡山県立大学)
- ② 10:00 協同的な活動における子どものメンターシップに関する研究 保木井 啓史
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 幼児の一斉歌唱に関する研究 智谷 思音
—保護者の指導による変容— (広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 子どもの理解と援助のフレームワークの構築(4) ○池田 隆英
(岡山県立大学)
○光田 尚美
(関西福祉大学)
楠本 恭之
(岡山短期大学)
中原 朋生
(川崎医療短期大学)
- ⑤ 11:30 子どもの理解と援助のフレームワークの構築(5) ○楠本 恭之
(岡山短期大学)
○中原 朋生
(川崎医療短期大学)
池田 隆英
(岡山県立大学)
光田 尚美
(関西福祉大学)

【総括討議 12:10~12:30】

「教師の力量形成Ⅰ」部会

会場：B101 教室 9:40 ~ 12:30

司会：熊丸 真太郎
(島根大学)

- ① 9:40 新任男性保育士の援助技術向上に関する基礎的研究
—1学期の生活場面における言葉がけの内容分析を通して—
- 栗岡 明美
(近畿大学豊岡短期大学)
柏 まり
(就実大学)
田中 享胤
(近大姫路大学)
- ② 10:00 中国における初等教員養成の三つのモデルの比較考察
- 高 慧味
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 中国における保育者のメンタルヘルスに関する研究
- 王 路曦
(広島大学・院生)
- ④ 10:40 幼稚園教育実習生の保育観
—子どもらしさ・かわいさイメージを視点として—
- 武内 裕明
(弘前大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:10 教育実習生の「学習指導技量」評価を基軸とした教育実習指導
についての考察
- 三山 緑
(岐阜聖徳学園大学)
- 藤本 駿
(東亜大学)
志々田 まなみ
(広島経済大学)
田中 泉
(広島経済大学)
櫻田 裕美子
(宮崎産業経営大学)
熊谷 信順
(元・東亜大学)

【総括討議 11:50~12:30】

大会第一日 11月2日(土)

「カリキュラム論Ⅰ」部会

会場：B102教室 9：40～12：10

司会：樋口 裕介
(福岡教育大学)

- ① 9:40 フランスの前期中等教育段階における「科学テクノロジー統合教育」の特色 三好 美織
(広島大学)
- ② 10:00 当代中国の小学校音楽科教科書における鑑賞教材に関する研究 塔 娜
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 中学校社会科歴史教科書に内在する認識形成の過程と構造—展示的分析を通して— 中山 茜
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 イギリス国語科教育における Creative Writing の研究 芦田 和佳
(大阪教育大学・院生)
- ⑤ 11:10 ドイツ国語教授学の今日的課題(15) 土山 和久
(大阪教育大学)

【総括討議 11：30～12：10】

「国語教育Ⅰ」部会

会場：B103 教室 9：40 ～ 12：30

司会：山元 隆春
(広島大学)

- ① 9:40 教材としての絵巻(5)
—古典学習の拡充に向けて— 井上 泰
(広島大学附属福山中・高等学校)
- ② 10:00 国語教科書における「宮沢賢治」に関する一考察 幾田 伸司
(鳴門教育大学)
- ③ 10:20 教科書カリキュラム分析の方法に関する一考察 大滝 一登
—日本語コーパスの活用を中心に— (ノートルダム清心女子大学)
- ④ 10:40 説明的文章教材における歴史的説明と主張 間瀬 茂夫
(広島大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:10 中学校説明的文章教材の「説得」の構造に関する一考察 金子 萌
(鳴門教育大学・院生)
- ⑥ 11:30 「国語科主題単元学習」とは何か 池田 匡史
(広島大学・院生)

【総括討議 11：50～12：30】

大会第一日 11月2日(土)

「音楽教育 I」部会

会場：B104 教室 9:40 ~ 12:30

司会：三村 真弓
(広島大学)

- ① 9:40 アムステルダム市立音楽学校における即興演奏指導の試み 多田 愉可
(広島文化学園大学)
- ② 10:00 Gordon の即興演奏レディネスレコードに関する研究 酒井 勇也
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 Carl Orff の舞台作品におけるオスティナート技法 吉井 也代里
—子どものための音楽劇《Die Weihnachtsgeschichte》を中心
に— (広島大学・院生)
- ④ 10:40 音色が音高同定能力に与える影響 能見 義史
(広島大学・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:10 Universal School Music Series における鑑賞教育に関する 福島 さやか
—考察— (福岡女学院大学)
- ⑥ 11:30 2001~2011 年度における音楽療法士(補)試験に関する研究 福井 可奈
—試験内容の難易度及び正解率に着目して— (広島大学・院生)

【総括討議 11:50~12:30】

「音楽教育Ⅱ」部会

会場：B105 教室 9:40 ~ 12:10

司会：吉富 功修
(広島大学名誉教授)

- ① 9:40 初見視奏時におけるリズム視奏に関する研究 向田 あかり
(広島大学・院生)
- ② 10:00 音楽科授業における基本的心理欲求尺度の検討 別府 祐子
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 演奏時の“あがり”に関する心理尺度の検討 平山 裕基
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 音高外れの歌唱の改善を支援する Voice Shooting Game 大西 潤一
Windows 版の開発 (元鈴峯女子短期大学)
- ⑤ 11:10 音楽のテンポが色彩感に与える影響 (2) 瀬川 恵
(広島大学・院生)

【総括討議 11:30~12:10】

大会第一日 11月2日(土)

「多文化教育」部会

会場：A111 教室 10:00 ~ 12:10

司会：大塚 豊
(広島大学)

- ① 10:00 多文化共生的資質を育成する中学校社会科公民的分野の授業開発—単元「外国人労働者が抱える構造的不平等問題」の場合 瀬戸 康輝
(広島大学・院生)
- ② 10:20 技能実習生のためのドラマを用いた入国時日本事情教育 梶村 知美
(岡山服飾ビジネス専門学校)

【休憩 10分】

- ③ 10:50 James Standifer の多文化音楽教育 長谷川 諒
—The Contemporary Music Project における彼の活動とその多文化音楽教育観— (広島大学・院生)
- ④ 11:10 多文化子育てに関する研究 吉田 貴子
(西南女学院大学・非常勤)

【総括討議 11:30~12:10】

「教育と言語」部会

会場：A112 教室 9:40 ~ 12:30

司会：永田 良太
(広島大学)

- ① 9:40 聞き取りからのストーリー・テリングを素材とした談話分析 児島 由佳
—日本語母語話者の「という」の使用に注目して— (鳴門教育大学・修了生)
- ② 10:00 日本語母語話者とスペイン語母語話者の文章表現スタイルの 西條 結人
研究 (鳴門教育大学・院生)
—日本の大学生とスペインの大学生の作文比較—
- ③ 10:20 JSL 児童に対するリライト教材を用いた国語科学習支援 宇都宮 絵里
—先行学習の試み— (鳴門教育大学・院生)
- ④ 10:40 日本語授業における振り返りシートの活用 林 伸一
—大学の留学生の事例を中心に— (山口大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:10 速読と精読を取り入れたリーディングの在り方 ○宇山 公暁
—Oscar Wilde “THE SELFISH GIANT”を教材として— (広島大学・院生)
小野 章
(広島大学)
- ⑥ 11:30 米国占領下の沖縄における言語政策に関する一考察 石川 紗莉
—民政府による小学校英語政策に焦点を当てて— (鳴門教育大学・院生)

【総括討議 11:50~12:30】

公開シンポジウム

会場：C102 教室
13:30～16:30

教員養成機能の刷新

【シンポジスト】

山崎 博敏 (広島大学)

中国四国各県における教員供給体制—過去と近未来

三橋 謙一郎 (徳島文理大学)

教員の資質向上と教職課程の充実

—「教職実践演習」への取り組みを中心として—

山根 俊喜 (鳥取大学)

教員養成学部から改組した「一般学部」における教員養成の課題

—鳥取大学地域学部の場合—

【司会】

中村 直人 (高知工科大学)

岡谷 英明 (高知大学)

【趣旨】

現在、教員養成機能を持っている大学には(国公立大学、私立大学を問わず)、教員養成機能の刷新が求められている。

教員養成機能の刷新が求められる背景には、中央教育審議会の答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」、またこの答申と同時に提出された答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」において、大学教育の質的転換が求められていることがあげられる。

教員養成の修士レベル化や今後の教員需要を踏まえた教員養成課程及び大学院の課程の在り方を踏まえ、今後、各大学は、その将来計画のなかに、教員養成機能をどの程度まで織り込むかを検討しなければならない状況となったといえる。

そこで、2013年度のシンポジウムでは、「教員養成機能の刷新」を大きなテーマとして掲げ、今後の教員需給、新しい教員養成デザイン(教職実践演習等のカリキュラム改革、大学間連携、教育委員会との連携など)といった観点から、教員養成の目的、学生定員、教員数、教員養成の質保証などについて探求していきたい。

大会 第二日

「道德教育」部会

会場：A106 教室 9：40 ～ 12：10

司会：丸山 恭司
(広島大学)

- ① 9:40 人間の位置づけと道德教育
—ルソーとカント倫理学を参考に— 渋谷 昌雄
(島根大学・非常勤)
- ② 10:00 人格の教育 中野 桂子
(福岡大学・院生)
- ③ 10:20 実践的態度を育成する道德授業に関する研究
—デューイの「反省的思考」を中心に— 西川 珠美
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 子どもの道德性の発達に関する研究
—役割取得を中心に— 趙 碩
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:10 道德教育における理由の明示化過程に関する一考察 杉田 浩崇
(愛媛大学)

【総括討議 11：30～12：10】

大会第二日 11月3日(日)

「教育の歴史Ⅱ」部会

会場：A107 教室 9：40 ～ 12：10

司会：山中 芳和
(岡山大学)

- ① 9:40 インドネシア・アンボンの成り立ちと教育(2)
—地域教育史から読み解く「地域の課題」— 中矢 礼美
(広島大学)
- ② 10:00 清末国文科草創期における日本教授法の受容 班 婷
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 東北大学における戦後教員養成理念の受容
—教員の教員養成に対する志向性の分析— 久恒 拓也
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 昭和33年度学習指導要領改訂(音楽編)に向けた文部省小学
校教育課程研究・実験学校の取り組み 四童子 裕
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:10 「教育令」期における漢文教育観に関する研究
—小学校中等科の教育課程・教材を中心に— 西岡 智史
(広島大学・院生)

【総括討議 11：30～12：10】

「授業研究Ⅱ」部会

会場：A108 教室 9:40 ~ 12:10

司会：山岸 知幸
(香川大学)

- ① 9:40 音楽科の一授業にみる児童の経験についての一考察 河北 邦子
(山口学芸大学)
- ② 10:00 スウェーデンの学校教育機関 Lilla Akademien における特色ある音楽教育実践 松本 進乃助
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 現代中国における小学校社会科授業の改革
—上海版「品德と社会」教師用指導書の分析を通して— 宛 彪
(広島大学・院生)

【休憩 10分】

- ④ 10:50 表現創作ダンスに資するクリエイティブムーブメントに関する研究
～NAME GAME について～ ○菅尾 尚代
(広島修道大学)
松岡 重信
(福山平成大学)
- ⑤ 11:10 モデル論からみた体育授業 ○松岡 重信
(福山平成大学)
菅尾 尚代
(広島修道大学)

【総括討議 11:30～12:10】

大会第二日 11月3日(日)

「授業研究Ⅲ」部会

会場：A109 教室 10:00 ~ 12:10

司会：間瀬 茂夫
(広島大学)

- ① 10:00 多面的・多角的に考察する力を育む中学校社会科の授業づくり 木本 唯
(福岡教育大学・院生)
- ② 10:20 「<語り>を読む」という行為のもつ意義 武田 裕司
— 読者反応の分析を手がかりに — (広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ③ 10:50 中学校国語科における「批評」カリキュラムの検討 濱田 美貴
(鳴門教育大学・院生)
- ④ 11:10 意見文を用いた評論文の指導 三浦 真美
— 「紙上交流」の効果をどうとらえるか — (鳴門教育大学・院生)

【総括討議 11:30~12:10】

「教育の制度とマネジメント」部会

会場：A110 教室 9：40 ～ 12：30

司会：高瀬 淳
(岡山大学)

- ① 9:40 中国義務教育学校教員の定期的流動制度に関する研究 郭 文娟
(広島大学・院生)
- ② 10:00 都道府県・政令指定都市教育委員会の基本計画・教育指導方針
における「生徒指導」の記述分析 石田 美清
(埼玉県立大学)
- ③ 10:20 アメリカが意識するトップパフォーマンス 佐々木 司
(山口大学)
- ④ 10:40 アメリカ教育長養成プログラムの動向 宮崎 安嗣
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:10 H.ミンツバーグのマネジメント教育に関する考察 山本 遼
(広島大学・院生)
- ⑥ 11:30 米国州制定法規上にみるスーパーバイザー職に関する研究 山下 右恭
—セントラル・オフィス・スーパーバイザーの免許規定に着目
して— (広島大学・院生)

【総括討議 11：50～12：30】

大会第二日 11月3日(日)

「学力の国際比較」部会

会場：A111 教室 10:00 ~ 12:10

司会：吉田 成章
(広島大学)

① 10:00 教育における「国際標準化」と「多様性保持」の力学
—中国の PISA 受容過程に見る「教育伝統」の位置づけ— 金龍 哲
(神奈川県立保健福祉大学)

② 10:20 ニュージーランドの学力テスト
—キー・コンピテンシー育成の観点から— 島津 礼子
(広島大学・院生)

【休憩 10 分】

③ 10:50 フランスにおける「共通の基礎」学習成果の測定と評価
○金井 裕美子
(広島大学)
田崎 徳友
(九州女子大学)

④ 11:10 ベルギーにおけるコンピテンシーを基盤とした学習の指導と
評価 金井 裕美子
(広島大学)

【総括討議 11:30~12:10】

「幼児教育Ⅱ」部会

会場：A113教室 9:40 ~ 12:30

司会：佐藤 智恵
(神戸親和女子大学)

- ① 9:40 保育施設の食事場面に関する研究
—共食の場としての視点から—
伊藤 優
(広島大学・院生)
- ② 10:00 保・幼・小をつなぐ学びとは
—ドイツでの議論を手がかりにして—
渡邊 眞依子
(鈴峯女子短期大学)
- ③ 10:20 認定こども園に関する研究
濱名 潔
(広島大学・院生)
- ④ 10:40 小学校1年生の学校適応に関する一考察
鳥山 実咲
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:10 音楽領域におけるドイツの幼小連携に関する研究
—ザクセン州を中心に—
井下 べに
(広島大学・院生)
- ⑥ 11:30 モンテッソーリ教育における音楽指導に関する研究
—「動き」に着目して—
藤尾 かの子
(広島大学・院生)

【総括討議 11:50~12:30】

大会第二日 11月3日(日)

「高等教育」部会

会場：A112 教室 9:40 ~ 12:10

司会：山口 健二
(岡山大学)

- ① 9:40 現代社会における学歴主義の実像 上野 陽平
(広島大学・院生)
- ② 10:00 中国における大学生の就職意識問題の現状と課題 高 静
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 学習者の主体性に着目した T 字型人材育成に関する一考察 藤墳 智一
(宮崎大学)
- 【休憩 10 分】
- ④ 10:50 ケンブリッジ大学工学教育の 90 年 福石 賢一
—1875~1965 年— (九州女子大学)
- ⑤ 11:10 通信制大学院の学習方法に関する一考察 前田 宗良
—大学院設置基準を通して— (鹿屋地域センター)

【総括討議 11:30~12:10】

「特別支援教育」部会

会場：B106 教室 9：40 ～ 12：10

司会：落合 俊郎
(広島大学)

- ① 9:40 保育におけるユニバーサルデザインに関する研究 王 陽
(広島大学・院生)
- ② 10:00 生涯発達と国語教育 本渡 葵
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 自閉症者の教育人間学的研究
—「いじめ」に焦点をあてて— 眞次 浩司
(倉敷市立短期大学)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 特別支援教育における学習集団指導のあり方 吉田 茂孝
(福岡教育大学)
- ⑤ 11:10 特別なニーズのある幼児の保幼小接続に関する研究 河口 麻希
(広島大学・院生)

【総括討議 11：30～12：10】

「教師の力量形成Ⅱ」部会

会場：B101 教室 9：40 ～ 12：10

司会：米沢 崇
(広島大学)

- ① 9:40 アメリカにおける教員の資質向上政策に関する研究
—全米教職専門職基準委員会 (NBPTS) による資格認定の実態と課題—
田澤 翔吾
(広島大学・院生)
- ② 10:00 明治期大日本教育会の教員講習事業
—年間を通じた学力向上機会の提供—
白石 崇人
(鳥取短期大学)
- ③ 10:20 保育・教職実践演習の検討
—地方私立短期大学の事例を中心に—
渡辺 一弘
(別府大学)
- 【休憩 10 分】
- ④ 10:50 教職志望学生の学校経営イメージ
熊丸 真太郎
(島根大学)
- ⑤ 11:10 実習外教育を利用した保育・教育実践力育成のための一考察
—Chigo Café の活動を事例として—
○小林 久美
(東京未来大学)
木内 菜保子
(東京未来大学)
森 熏
(東京未来大学)
佐々木 由美子
(東京未来大学)

【総括討議 11：30～12：10】

「カリキュラム論Ⅱ」部会

会場：B102 教室 9：40 ～ 12：10

司会：住野 好久
(岡山大学)

- ① 9:40 特別活動の内容をめぐる一考察 ト部 匡司
(広島市立大学)
- ② 10:00 イタリアの小・中学校における音楽科教育の現状に関する研究 大野内 愛
—2012年プログラムへの改訂に着目して— (広島大学)
- ③ 10:20 ドイツにおける工房型授業の研究 楠田 円香
(大阪教育大学・院生)

【休憩 10分】

- ④ 10:50 米国各州の音楽スタンダードの構成概念に関する研究 永井 愛
—ミズーリ州およびテネシー州を中心に— (広島大学・院生)
- ⑤ 11:10 ラトケ教授学とラミズムとの関連に関する一考察 中野 和光
(美作大学)

【総括討議 11：30～12：10】

大会第二日 11月3日(日)

「国語教育Ⅱ」部会

会場：B103 教室 9：40 ～ 12：10

司会：幾田 伸司
(鳴門教育大学)

- ① 9:40 子ども理解に基づく授業構想 田中 理
(福岡教育大学・院生)
- ② 10:00 話し合い学習指導における教師の働きかけに関する一考察 上山 伸幸
(広島大学・院生)
- ③ 10:20 ブックトークにおける話題のつなぎ方の研究 福井 光恵
(鳴門教育大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 10:50 昭和20年代における国語単元学習の研究 西村 啓
—教育雑誌の検討を通して— (広島大学・院生)
- ⑤ 11:10 2000年代における説明的文章の授業実践の検討 古賀 洋一
—方略指導の位置づけ— (広島大学・院生)

【総括討議 11：30～12：10】

「数学教育」部会

会場：B105 教室 10:00 ~ 12:10

司会：影山 和也
(広島大学)

- ① 10:00 確率単元の構造に関するコモグニション論的考察：高等学校数学教科書の分析を通して 大滝 孝治
(広島大学・院生)
- ② 10:20 数学的実体への存在論的アンコミットメントがもたらすミス
コンセプションに関する仮説 上ヶ谷 友佑
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ③ 10:50 特殊から一般へと記述された教科書構築原理の探求 早田 透
(広島大学・院生)
- ④ 11:10 数学教育における表現力の育成方法に関する研究
—「数学的表現力」を観る実態調査— 大橋 健司
(広島大学・院生)

【総括討議 11:30~12:10】

「音楽教育Ⅲ」部会

会場：B104 教室 9：40 ～ 12：30

司会：長島 真人
(鳴門教育大学)

- ① 9:40 音楽科教科書における和音の扱いに関する一考察 岡崎 藍
(広島大学・院生)
- ② 10:00 音楽鑑賞時における音楽的発見を促す指導言に関する研究 森保 尚美
—アメリカ・アレナスの発問類型に照らした検討を通して— (広島大学附属小学校)
- ③ 10:20 吹奏楽指導における内発的学習意欲を高めるための指導言に 藤井 愛子
関する研究 (広島大学・院生)
- ④ 10:40 ドイツの音楽科教員養成で求められる専門的内容 伊藤 真
(広島大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:10 幼児の歌唱の実態に関する研究(1) 〇吉富 功修
—高岡市国吉光徳保育園でのクラス歌唱を対象として— (広島大学名誉教授)
三村 真弓
(広島大学)
伊藤 真
(広島大学)
- ⑥ 11:30 田中教育研究所音楽研究部編『音楽素質診断テスト』に関する 〇三村 真弓
研究 (広島大学)
吉富 功修
(広島大学名誉教授)
伊藤 真
(広島大学)

【総括討議 11：50～12：30】

ラウンドテーブル①

会場：B107 教室
13:30～15:30

土佐市立高岡中学校における討論授業実践

— 中学校・教育委員会・市役所・大学が連携・協働した2年の歩み —

【企画者】

丸山 恭司 (広島大学)

竹内 伸一 (慶應義塾大学／広島大学大学院・院生)

【司会・提案者】

竹内 伸一 (慶應義塾大学／広島大学院・院生)	本取組の概要とプロセス
矢野 康孝 (土佐市役所産業経済課 (取組当時))	行政の視点からの問題提起
加藤 智己 (土佐市教育委員会事務局)	教育委員会の視点からの問題提起
吉本 真里 (土佐市立高岡中学校教諭)	教師の視点からの問題提起
横田 美香 (土佐市立高岡中学校教諭)	討論授業の「準備」という大仕事
岡村 洋一郎 (土佐市立高岡中学校教頭)	中学校で行う討論授業の可能性と難点
林 照子 (園田学園女子大学)	討論授業を行う教師にかかる負担と学び
福村 貴之 (土佐市役所産業経済課)	本取組のアーカイブ、ならびに今後の取組
尾場 友和 (広島大学大学院・院生)	官学／大中連携と教育実践への効果
丸山 恭司 (広島大学) ※司会を兼務	本取組の教育学的意義

【企画趣旨】

高知県土佐市は「産業と教育」で近隣他市町村に勝る市政を目指し、弁理士会や県内外の大学と連携して、小学校4年生から中学3年生までを対象に、学年別の教育を支援している。

今回発表するのは、慶應義塾大学とともに行った中学2～3年生のための討論授業実践であるが、その最大の特徴は、中学校・教育委員会・市役所・大学の四者が、対等の関係で、丁寧に話し合いながら、中学生のための討論授業をゼロから創り上げ、実践した点にある。

この取組は、関係者に「成功」と認識され、生徒たちは「勉強になった」と感想を述べた。しかし、教育学の諸視点で点検したときには、どのように評価されるべきなのだろうか。

会場には、高岡中学校、土佐市教育委員会、土佐市役所、慶應義塾大学、広島大学から関係者が集まり、それぞれの立場から意見を述べ合うとともに、「官学」あるいは「大中」という異組織間の連携・協働による教育実践の可能性とその留意点について会場参加者と議論する。

ラウンドテーブル②

会場：B108 教室

13:30～15:30

地域産業界をフィールドとした
人材育成としての大学教育
— 中国四国地区における取組を事例として —

【企画者】

吉澤 茉帆（山口県立大学）

【司会・提案者】

提案者

吉澤 茉帆（山口県立大学）「大学教育に求められる育成すべき人材像」

藤本 佳奈（香川大学）「大学におけるインターンシップの歴史的展開」

田中 久美子（山口大学）「山口大学におけるインターンシップの取組」

増本 貴士（尾道市立大学）「地域産業界との連携による PBL 型キャリア教育」

指定討論者

池田 啓実（高知大学）

【企画趣旨】

最近では、企業の採用活動時期の見直しやインターンシップ参加者の増加政策のように、大学生や若者の就職や人材育成に対する関心が高まっている。本報告では、インターンシップや PBL (Project Based Learning) など地域産業界をフィールドにした教育活動について報告を行い、人材育成としての大学教育のあり方や方法について探る。

各提案者による中四国における地域産業界をフィールドにした教育実践の報告から、大学教育において、学生の職業的スキルやキャリア観をどこまで／どのように育成できるか／すべきかということについて論じる。登壇者は、教育社会学や社会政策といった異なる学問的背景を有しているが、若者や大学生のキャリア支援に関わってきた点で共通している。それぞれの学問的な知見や実践経験から、大学教育に対する多角的な議論を行い、教育学的立場から経済・産業界への提案をしていきたい。